

市場事務所便り

社会保険労務士 市場 敬将



〒381-1231
長野市松代町松代 9 0 8
電話 : 026-278-3555 F A X : 026-278-3540
e-mail : ima@ichiba-sr.com URL : www.ichiba-sr.com

正社員の手当引き下げで非正規との格差是正へ～日本郵政



◆「同一労働同一賃金」実現へ 正社員の手当引き下げ

日本郵政グループが、正社員のうち約 5,000 人の住居手当を今年 10 月に廃止するという事です。この手当はこれまで正社員にだけ支給されていて、非正社員との待遇格差は縮まることとなりますが、「同一労働同一賃金」を目指す動きは広がりつつあるなか、正社員の待遇を下げて格差の是正を図るのは異例です。

◆経過措置の設定で組合側も受け入れ

日本郵政グループは、日本郵政、日本郵便、ゆうちょ銀行、かんぽ生命保険の 4 社からなり、廃止対象は、原則として転居を伴う転勤のない条件の正社員（約 2 万人）のうち、住

居手当を受け取っている約 5,000 人。1 人あたりでは、年間最大 32 万 4,000 円の減収になります。

きっかけは、日本郵政グループ労働組合（組合員数約 24 万人）が今春闘での要求で、正社員だけに認められている扶養手当や住居手当など 5 つの手当を非正社員にも支給するよう求めたことです。

これに対し、会社側は組合側の考え方に理解を示して「年始勤務手当」については非正社員への支給を認める一方で、逆に一部の正社員を対象に住居手当の廃止を提案しました。組合側は、当初は反対しましたが、廃止後も 10 年間は一부를支給する経過措置を設けることで折り合いました。

日本郵政グループとJP労組が春闘で決定した内容

手 当	内 容
住居手当	転居を伴う転勤がない正社員への支給を停止。非正社員には従来通り支給せず。
年末年始勤務手当	年末手当の支給を停止。年始手当は正社員・非正社員ともに支給。
寒冷地手当	支給額を削減。非正社員には従来通り支給せず。
隔遠地手当	支給額を削減。非正社員には従来通り支給せず。
扶養手当	今後も継続して協議する。

◆手当の廃止は正社員に不満も

同一労働同一賃金に関する厚生労働省のガイドライン案では、正社員にだけ支給されるケースも多い通勤手当や食事手当といった各種手当の待遇差は認めないとしており、政府は非正社員の待遇が、正社員の待遇に引き上げられることを想定していました。

同一労働同一賃金の実現を、正社員の待遇を引き下げることによって実現しようという動きは、正規と非正規社員の間にあつれきを生む懸念もありますが、今回の日本郵政グループの判断を民間の単一労組では国内最大の組合側が受け入れたことで、こうした動きは他企業にも広がるかもしれません。

【同一労働同一賃金ガイドライン案】

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000190591.html>

5月から雇用保険の手続きでマイナンバーの取扱いが変わります！

マイナンバー



◆マイナンバーの取扱い

平成 28 年 1 月より利用が開始されたマイナンバーですが、平成 30 年 3 月 5 日から、事業所における社会保険手続において記載が求められるようになりました。

また、これまでマイナンバーの記載がなくても受理されていた雇用保険関係については、マイナンバーが必要な届出に記載・添付がない場合は、ハローワークより返戻され再提出を求められますので注意が必要です。

◆マイナンバーが必要な届出等

【マイナンバーの記載が必要な届出等】

- (1) 雇用保険被保険者資格取得届
- (2) 雇用保険被保険者資格喪失届
- (3) 高年齢雇用継続給付支給申請（初回）
- (4) 育児休業給付支給申請（初回）
- (5) 介護休業給付支給申請

帳票種別	1. 個人番号
15101	<input type="text"/>
2. 被保険者番号	3. 取得区分
<input type="text"/>	<input type="checkbox"/> (1) 新規 <input type="checkbox"/> (2) 再取得

【個人番号登録・変更届の添付が必要な届出等（ハローワークにマイナンバーが未届の者に係る届出等である場合）】

- (6) 雇用保険被保険者転勤届
- (7) 雇用継続交流採用終了届
- (8) 高年齢雇用継続給付支給申請（2回目以降）
- (9) 育児休業給付支給申請（2回目以降）

◆すでにハローワークにマイナンバーを届け出ている場合

個人番号記載欄がある届出（上記(1)～(5)）については、届出の都度マイナンバーを記載することになっていますが、すでに他の届出等の際にマイナンバーを届け出ている場合には、各届出等の欄外に「マイナンバー届出済」と記載して、個人番号の記載を省略することが可能です。

個人番号記載欄のない届出（上記(6)～(9)）については、「マイナンバー一届出済」の記載は不要ですが、未届けの場合は届出書類が返戻されてしまうので、個人番号登録・変更届を添付して提出します。

◆個人番号登録・変更届により別途の登録を行う場合

事前に個人番号登録・変更届によりマイナンバーの登録を行うことが可能です。

個人番号登録・変更届出書

〒0123456789

1. 届出区分 (1)新規 (2)変更

2. 個人番号

3. 変更前個人番号

4. 被保険者番号

5. 氏名 (カタカナ)

6. 性別 (1)男 (2)女

7. 生年月日 (1)大正 (2)昭和 (3)平成

8. 事業所名

〒

上記のとおり雇用保険被保険者の個人番号について届けます。

届出日 平成 年 月 日

届出先 公共職業安定所長 殿

9999.23

ただし、新規に被保険者資格を取得する従業員については被保険者番号が振り出されていないため、資格取得届の提出に先立って個人番号登録・変更届による届出を行うことができません。このような場合等、個人番号登録・変更届の提出が各種届出よりも後になる事情がある場合には、ハローワークに相談してください。

「ジョブリターン制度」を機能させるための留意点



◆「ジョブ・リターン制度」とは？

いったん自社を退職した従業員を再雇用する制度（名称は「ジョブ・リターン制度」「カムバック制度」等さまざま）を導入する企業が増えています。平成23年度雇用機会均等法基本調査によれば、こうした制度がある事業所の割合は53.1%です。

また、エン・ジャパンの「出戻り社員実態調査2016」では、220社中67%が「再雇用した経験がある」、7割超が「条件が整えば再雇用したい」と回答しています。

人手不足対策として、こうした制度の導入・活用は企業にとって有効と思われるかもしれませんが、実際に退職者に利用してもらうためには、どのような取組みが必要なのでしょうか？

◆人材確保のための導入企業の取組み①－退職理由を限定し過ぎない

2000年代前半に導入が広がった当時は、結婚や出産・育児が理由の退職者を主なターゲットとしていました。

しかし、近年は退職者を広く受け入れるため、「介護」や「配偶者の転勤」、「転職」、「留学」といった理由での退職者も対象に含めたり、理由を問わず対象に含めたりするところが増えています。

◆人材確保のための導入企業の取組み②ー積極的に制度周知を行う

制度を利用してもらうためには、制度の存在が知られていることが不可欠です。

そのため、導入企業では退職時に制度説明を行うとともに、リストに登録するかどうかを確認しておき、募集時にはリストに登録された退職者から優先的に選考したり、退職者に定期的に郵送で再就職を呼びかけたりしているところがあります。専用サイトを設けているところもあります。

◆人材確保のための導入企業の取組み③ー再雇用時に細かなフォローをする

復帰に意欲的な退職者であっても、ブランクに対する不安があったり、事情の変更により在職時と同じ働き方での復帰は難しいなどの事情を抱えていたりすることから、導入企業によっては研修期間を設けたりしています。

元従業員といえども、新規採用者と同様に、雇入れ後の働き方に関する希望や条件をヒアリングするなど、丁寧な対応を心がけましょう。

～今月のことば～



明治22年、日本は立憲国家になった。立憲というのは、国家機関や政治家が正直であることを基礎としている。事実、日露戦争終了までの明治期の為政者の正直度は、相当な高さだったといつてよく、でなければ明治の奇跡とよばれる時代は創りだせなかったにちがいない。

われわれは旧憲法については国民を成立させてくれた恩がある。また、戦後憲法は個人を創りだしてくれた。いまの憲法による日本国は個々の自覚の総和の上になりたっているのである。個々が正直さをうしなえばたちまち崩壊してしまう。

むろん個々だけではない。それを代表する国家機関や政治家が不正直であれば、手にもった薄いガラス器具を落とすようにこわれるのである。

『風塵抄』 司馬 遼太郎 著

～事務所よりひとこと～



新緑の候、野山の緑に癒される季節となりました。私の一番好きな季節なのですが……。

今年のGW、我が家は大変な騒ぎとなりました。ガス給湯器が故障してしまっただけです。3日もお湯が使えず、お風呂にも入れず、不便な思いをしました。

普段、温かいお湯を使えるのが当たり前になっているので、水道から冷たい水しか出ないというのは、なんとも侘びしい気持ちになります。昔、かまどで煮炊きし、薪でお風呂を沸かしていた時代を思うと、現代人はなんて便利な生活をしているのだろうと思ひ知らされました。

災難でしたが、子供たちとともに現代の恵まれた生活をありがたく思うよい機会になりました。幸いしたのは、慌ただしい平日ではなくてGW中だったこと。おかげで、普段めったに利用しない温泉に行くことができ、癒しの時間を過ごすことができました。今年は、日常を離れ癒しを求めて、お気に入りの温泉を見つけてみようかと思ひます。(八木澤)